

乳癌腋窩治療における 多施設共同研究について

■ 本研究の概要及び目的

乳癌の治療は手術、内分泌療法、化学療法、放射線療法を組み合わせた集学的治療が標準治療となっています。内分泌療法、化学療法、放射線療法といった手術以外の治療が進化したために、現在の手術はその規模を縮小させており、腫瘍の根治性(癌を治す力)を損なわずに、いかに患者様の QOL(Quality of life 生活の質)を維持するかを念頭に置いた研究がなされています。

手術前に腋窩リンパ節転移がない患者様へのセンチネルリンパ節生検はその一つであり、これにより腋窩郭清を省略し、合併症であるリンパ浮腫を予防することが可能です。ですが、手術前に腋窩リンパ節転移を認める患者様には腋窩郭清を行わざるを得ないのが現状です。

本研究の目的は、手術前に腋窩リンパ節転移陽性と診断されて腋窩郭清を行っている患者様について、腋窩郭清省略の可能性を求めてデータを集積していくことにあります。

これを当院だけでなく多くの施設で協力することにより多くの患者様にご協力いただきたいと思っております。

■ 本研究の方法

以下のすべてを満たす患者様の臨床データを使用させていただきます。

- ・ 2010年1月以降に乳房部分切除をされた方
- ・ 術前の検査にて腋窩リンパ節転移陽性と判断し、腋窩郭清を行った方
- ・ 術前に化学療法を行っていない方

■ 参加に伴う利益と不利益

本研究は多施設共同の後ろ向き研究であり、患者様の治療方針に介入するものではないために、参加に伴う利益および不利益はありません。

■ 参加同意と撤回

本研究において、書面での同意は原則として必要ありません。当該患者様の中で、臨床データを使わないでほしいという要望がありましたらご連絡ください。

■ プライバシー保護

本研究によって知り得た患者様の個人情報、研究目的以外に使用しないことを厳守し、不要となった場合は速やかに破棄します。

■ 費用負担および保障について

本研究は後ろ向き研究であるため、原則として費用負担はありません。

■ 本研究への参加予定施設（2016年12月5日現在）

栃木県立がんセンター
足利赤十字病院
済生会宇都宮病院
済生会中央病院

■ 研究代表者および当院研究責任者

研究代表者：栃木県立がんセンター 乳腺外科 竹前 大
当院の研究責任者：乳腺外科 佐藤 隆宣

■ 問い合わせ先

東京都済生会中央病院
〒108-0073 東京都港区三田 1-4-17
TEL 03-3451-8211（代表）
乳腺外科 佐藤 隆宣